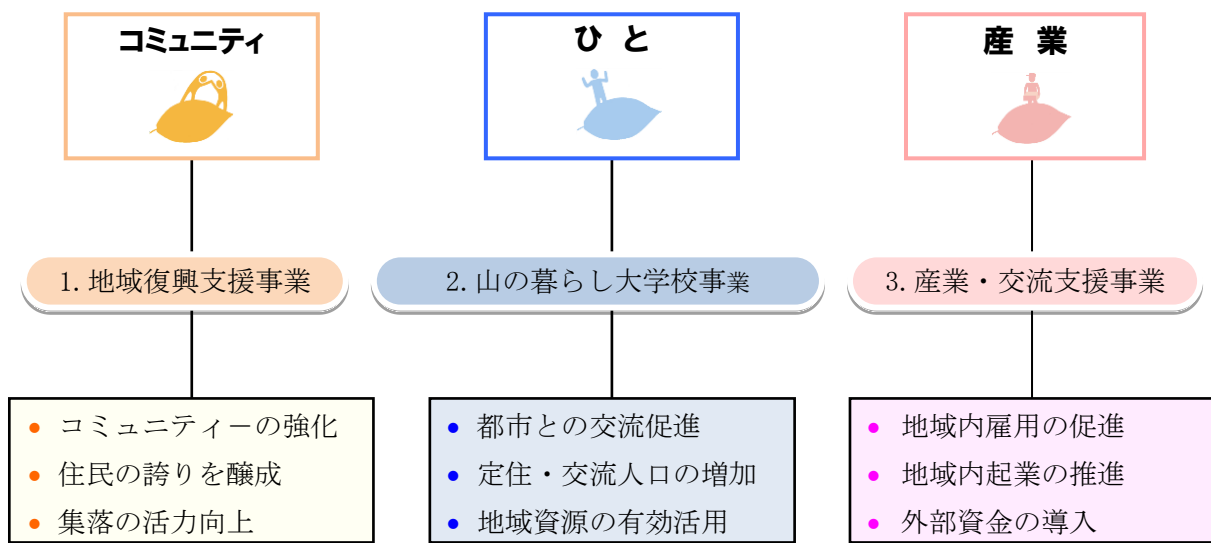


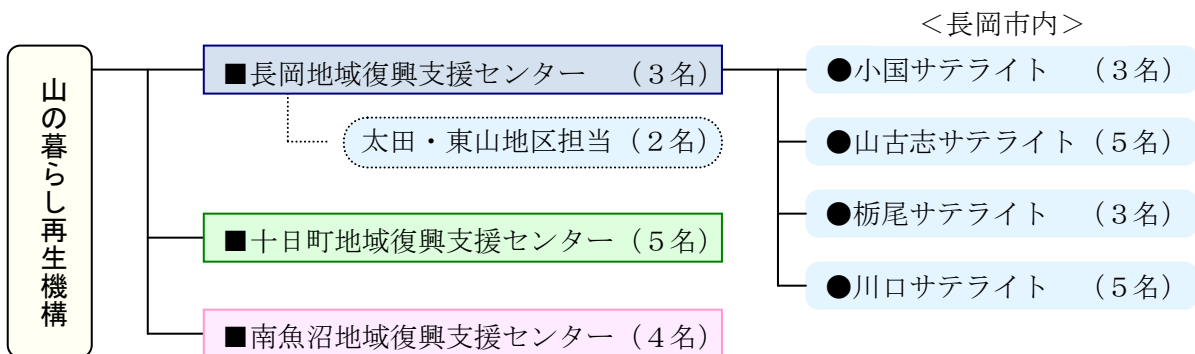
平成24年度事業報告

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

「中山間地域再生への創造的な取組みを通じ、持続可能な中山間地域の形成を目指す」という基本理念に基づいて、住民主体による集落経営の実現に向けた「コミュニティ（集落）」、「ひと」、「産業」の三要素を育成するため、『地域復興支援事業』、『中越・山の暮らし大学校事業』、『産業・交流支援事業』を主要事業として取り組んだ。



◆地域復興支援員設置状況



※人数は H25. 3. 31 現在

※事務局付：東北の被災地に2名派遣

(仙台、福島へ各1名。6次化復興まちづくりコンソーシアム。)

1 地域復興支援事業



コミュニティづくり

～地域を支える集落機能の強化～

中越地震で大きな被害を受けた中山間地域の復興を確実に進めるため、地域住民の創造的復興に向けた主体的な活動を支援する人材を配置する「地域復興支援事業地域復興支援員配置支援（財団法人新潟県中越大震災復興基金事業）」を活用し、平成20年度から地域復興支援事業に取り組んでいる。

平成24年度も引続き、長岡市（サテライト4か所）、南魚沼市、十日町市に地域復興支援センターを設置し、地域復興支援員が各地域で住民の主体的な活動を支援した。

また、平成24年4月1日から平成25年3月31日までの1年間、仙台及び福島へ2名の地域復興支援員を派遣し、被災での起業家支援を行った。

1 復興デザイン策定等の支援

集落のコミュニティ機能の再生や地域の復興に関する計画策定、計画の中で先導的に取り組む事業などを支援した。

2 集落活動の支援

集落行事や課題解決に向けた取り組みなど、安全で安心して暮らせる持続可能なコミュニティづくりを支援した。

3 集落機能の補完

集落で生活するために必要な支援とともに、集落の機能再生と持続的な運営に向けた取り組みを支援した。

4 連携活動の支援

地域内外の地域活性化に向けた活動（主体）をつなぎ、活動の充実と地域の活性化を支援した。

5 パートナーシップ構築の支援

地域外の友好的支援者（パートナー）との交流を支援し、地域の機能向上や活性化に向けた取り組みを支援した。

6 地域マネジメント体制整備の支援

持続可能な地域経営に取り組むための体制を整備するための地域活動を支援した。

7 情報の発信

ウェブや発行物などを通して地域の活動、当財団事業（地域復興支援員の活動）を地域内外に発信した。

◆主な支援活動

| | |
|-----------------------------|---|
| <p>長岡地域復興支援センター</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・各拠点での支援活動の統括調整（勤怠管理等を含む） ・LIMO 通信や「5年間の振り返り」まとめ方針の調整 ・復興基金事務局との支援員自主活動費執行に伴うガイドライン作成に関する協議及び決定。 |
| <p>太田・東山地区</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・デザイン先導事業への支援（太田地区、山通地区における基金申請支援や進捗管理支援） ・コミセン事業を通じた見守りの実施支援（食事サービスやお茶会など） |
| <p>小国サテライト</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・支所と連携した山間地における除雪支援組織の立ち上げ支援 ・集落活動計画策定ワークショップの企画、実施支援 ・「小国匠連10」の活動支援 |
| <p>栃尾サテライト</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地域内の地域づくりに取り組む主体が一堂に会す「かりやだ交流会」の運営支援 ・とちお雁木あいぼイベントを活用した地域コミュニティの強化と支援員の情報発信 ・地域づくりインターン事業を主催する集落を支援し、関東からの大学生と地域住民との交流促進を実施。 |
| <p>山古志サテライト</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の復興と振興を推進する「山古志住民会議」の運営（実施事業を含む）支援 ・地域資源の活用や公共サービスの提供をビジネス化した地域経営の仕組みづくりに向けた取り組みを支援 ・東日本大震災被災地住民との住民交流と復興を支援 |
| <p>川口サテライト</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地域経営組織を目指して設立されたNPO法人「くらしサポート越後川口」の定例総会や各種体験講座の実施を支援 ・市民交流拡大に向けた東京都狛江市との交流支援 ・東北の被災地からの視察対応等 |
| <p>南魚沼地域復興支援センター</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地域外からの旅行者や学校などのニーズに合わせた地域の受入れ体制の整備とマッチングを支援 ・子供をスキー活動に参加させ、地域産業の活性化支援 ・友好都市イベントや地域で開催されるまつりへの参加支援 |
| <p>十日町地域復興支援センター</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・先導事業実施における補助金申請、実績報告支援 ・地域おこし協力隊の新規配置について行政や地域への助言や説明会の開催支援 |

2 中越・山の暮らし大学校事業

人づくり ～地域を活性化する人材育成と交流促進

「都市と中山間地域に暮らす人たちが共に学ぶ」を基本概念に、中越の豊かな自然環境で育まれてきた伝統・文化を教材とした「学び・体験」の場を提供し、山里を活性化する人材育成を行う事業を開催した。



「中越・山の暮らし大学校」の開校式で挨拶する谷村さん(H24. 11. 12 小国)



「危機管理防災研修」で中越地震からの復興ノウハウを研修する受講者 H25.2.13 ながおか震災アーカイブセンター)

■事業実績

| | |
|-------------------------------|---|
| <p>(1) 谷村新司さんと共に学ぶ林間学校</p> | <p>「フラッグアーティスト」に就任いただいている音楽家の谷村新司さんが参加して、「衣・食・住」と「音」の融合をコンセプトに、地域の文化に触れながら中山間地域住民と都市住民が交流した。(小国、中之島地域を会場として開催)</p> <p>【実施日】平成24年11月12日(月)～13日(火)</p> <p>【参加人数】59名(首都圏31名)</p> |
| <p>(2) 地域・集落自主交流プログラム支援事業</p> | <p>日本棋院長岡支部、(株)法末天神囃子と共同主催となり、中山間地域(小国)にて創造的復興に取り組む事業を支援し、民間レベルの広域共助の関係づくりを行った。</p> <p>【実施日】平成24年9月8日(土)</p> <p>【参加人数】56名(市外24名)</p> |
| <p>(3) 東日本大震災被災地支援事業</p> | <p>中越地震から復興した「長岡市だからできる」支援活動をととして、中越地震からの復興の恩返しと東日本被災地の復興を支援するため中越防災研修講座を実施した。</p> <p>1日目：アオーレ長岡で実施(危機管理防災研修)</p> <p>2日目：ながおか震災アーカイブセンターで実施。川口地域に移動し、地域住民と研修及び交流。(午後から復興研修)</p> <p>3日目：小千谷震災ミュージアム「そなえ館」を視察し、その後山古志地域へ移動。山古志地域では地元住民と復興の過程や、地域復興支援員と交流。</p> <p>【実施日】平成25年2月13日(水)～15日(金)</p> <p>【参加人数】危機管理17名、復興11名(全受講者2名)</p> |

3 産業・交流支援事業



産業づくり

～地域を豊かにする産業創出と地域連携～

震災からの復興に向け、被災活動に蓄えられた資源を都市農村交流や物販等の経済活動につなげるため、野菜の移動販売、米の販売チャンネル拡大支援及び来訪者の増加支援を行うとともに、中越地震の風化防止に取り組む事業を実施した。



「江戸川カッパ市」で新米や特産品を販売(H24.11.3 千葉県・松戸市)



大槌町中央公民館にて中越地震のノウハウを伝える地域復興支援員(H24.8.31 岩手県・大槌町)

■事業実績

| | |
|------------------------------|---|
| <p>(1) 農産・加工品販売促進事業</p> | <p>中山間地域（太田東山、小国、栃尾、川口）の農産品及び地域の特産品を集客率の高い江戸川カッパ市に持参・販売し、中山間地域資源の販路拡大や魅力のPR、及び地域復興支援員の活動を発信した。</p> <p>【実施日】平成24年11月3日（土・祝）</p> <p>【総売上】49,200円</p> |
| <p>(2) 地域資源活用連携・企業支援事業</p> | <p>市内中山間地域における集落住民の魅力ある活動紹介を行うため、(一社)長岡観光コンベンション協会が主催するホコ天への参加を地域住民に呼びかけ、出店機会の創出と持続可能な販売活動を行う検討・支援を行った。</p> <p>【実施日】5月6日、6月3日、9月8日、10月6日、11月4日（5回の開催を呼びかけ）</p> <p>【実施場所】アオーレ長岡、大手通1・2丁目の車道及び歩道。</p> |
| <p>(3) 震災メモリアル拠点施設活用促進事業</p> | <p>被災した大船渡市及び大槌町の仮設住宅における様々な問題のケアをするために配置された支援員制度が1年を迎えるにあたり、中越地震でのノウハウについて情報提供を求められたため地元支援員の講師として復興支援員を派遣し講義を行うとともに、風化防止の情報発信も行った。</p> <p>【実施日】平成24年8月30日（木）～31日（金）</p> <p>【実施場所】大船渡市リアスホール、大槌町中央公民館</p> |

公益財団法人 山の暮らし再生機構

〒940-0062 長岡市大手通 1-4-11

電 話 : 0258-30-1213 F A X : 0258-30-1205